

今夏、熊本県での地震災害、千葉県での豪雨災害と自然災害が続きました。亡くなられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、家屋決壊や浸水被害によって避難所生活を強いられているみなさまへ心からお見舞いを申し上げます。

さて、この夏休み「新制服検討委員会」は、2029年の制服改定に向けて、更なる探究心を鍛えることができました。それは制服メーカー2社の工場見学を実施したからです。7月30日（木）には、明石スクールユニフォーム（株）の宇部工場、8月21日（金）には、トンボ（株）の岡山・玉野工場へ行きました。制服の製造工程、制服の機能や今日的課題など、多くのことを学ぶ絶好の機会となりました。成果は、後日披露されます。

（右の写真は、このたびアメリカからの留学生として来校した、ジョセフ・レニック君です。始業式で自己紹介をしました。）



「ミスは当たり前、失敗は宝物」

8月26日（水）、2学期が始まりました。私からの講話は以下の通りです。

「この夏休み、補習や部活動、あるいは家族で出かけたりするなど多くの経験を積み重ねたと思います。そうした経験が今日から始まる2学期に行かされることを願っています。

さて、今日は2つの話をします。まず1つ目は、1学期終業式にみなさんに出した課題のことです。3つの課題を出しましたが、達成できましたか？

1. 命を大切にすること。
2. 親への感謝の気持ちを示すこと。
3. 余裕を持った行動を心掛けること。

どうですか、達成できましたか。この課題は2学期も継続しますので達成するように努力してください。

2つ目です。日頃私が話していることを改めて伝えます。1学期当初の校長講話でも話したことです。「8つのマインドセット」です。中学1年のある生徒に「どうして8なんですか」と聞かれました。とてもいい質問です。「8」は漢字で「八」、末広がりです。未来が広がっていくという縁起がいい漢字なのです。だから「8つの…」としたのです。そのマインドセットは、

1. いい準備をしよう。
2. 読書をしよう。
3. 協創する人をめざそう。
4. 利他の心を持とう。
5. 礼儀（特に挨拶）を大切にしよう。
6. 時間と友だちを大切にしよう。
7. できない理由より、できる方法を考えよう。
8. 一流の人をめざそう。

の8つでした。2学期、それぞれの目標に沿って、この心構えを思い出して実践してください。

と、ここまでなのですが、実は昨日の昼頃まで、別の講話を準備していました。それは、「ミスは当たり前、

失敗は宝物」という話をするつもりで準備していました。それは、次の内容です。

「今夏、ある本で読んでとても気になったことがありました。それは『ミスは当たり前、失敗は宝物』という言葉です。

ミスと失敗、どんな違いがあるのかわかりますか。ミスは、うっかりだったり、準備や技術不足によって思った結果が得られなかったりすること。例えば、計算ミスとかパスミスなどというのがそれにあたりますね。失敗は、あることに挑戦した結果、努力し頑張ったけれども思ったような成果が得られなかったこと、という違いがあるように思います。なので、ミスに比べると失敗の方が落胆は大きいでしょう。

この言葉は、ミスは当たり前だから、ミスは平気だとかミスを気にしなくてもいいということではありません。しかし、人間である以上、ミスを完全になくすことは難しいでしょう。私はミスをしない人をこれまで見たことがありません。ただし、「私、失敗しませんから」と言ったテレビドラマの”外科医・大門未知子（米倉涼子さん）”なら知っていますが。

大切なことは、ミスをしたときに「なぜ間違えたんだろう」「次はどうしたらいいんだろう」と考えることです。そして、できれば失敗しない方がいい。でも、努力の結果失敗に終わったとき、その失敗から次の成功に向けてどうすべきか、深い学びを得ながら新たに挑もうとチャンスを見出すことが大切なのです。

「失敗が宝物」というのは、失敗そのものが宝物というのではなく、失敗から得た「気づき」や「学び」が宝物という意味なのです。だから、ミスや失敗を恐れず、ミスや失敗をしたときに何を学ぶかを大切にする2学期にしていきましょう。」

昨夕、左側の内容に切り替えた次第です。